



歴史的建築

～福音となったイエス～

2026・9・27

獄中からの手紙

- 獄中から書いたと思われる4つの手紙
 - 「キリスト・イエスの囚人となっているわたしパウロは…」エフェソ3:1
 - 「というのは、監禁されているときも、福音を弁明し立証するときも」フィリピ1:7
 - 「わたしが捕らわれの身であることを、心に留めてください。」コロサイ4:18
 - 「キリスト・イエスのゆえにわたしと共に捕らわれている」フィレモン1:23
- 囚われていた期間に書いた
 - カイサリア(2年)、ローマ(2年)、エフェソ？

エフェソの信徒への手紙

- パウロが最も長く滞在し、アジア州の中心教会となった

・「ティラノという人の講堂で毎日論じていた。このようなことが二年も続いたので、アジア州に住む者は、ユダヤ人であれギリシア人であれ、だれもが主の言葉を聞くことになった。」使徒19:9-10

- 囚われの身であったが、エフェソ教会にどうしても伝えたいメッセージがあった

・異邦人中心の教会であったが、ユダヤ人もおり、両者の間に横たわる「不和」が気になっていた

・パウロを敵対視するユダヤ人も視野に入れていた

地図 23



エフェソ

第1次および
第2次伝道旅行の出発点

かつては、パウロがベッシヌス、アン
キラ、タヴィウムなどのガラテヤの町
々を訪れたと信じられていたが、現在
の学者たちはこれを疑問視している。

大
地

中

海
海

すべてを一つにした救い

- 御子キリストの血によって贖われた
 - 「わたしたちはこの御子において、その血によって贖われ、罪を赦されました。これは、神の豊かな恵みによるものです。」1:7
- それはすべての者が「**一つ**」になるためである
 - 「こうして、時が満ちるに及んで、救いの業が完成され、あらゆるものが、頭であるキリストのもとに**一つにまとめられます**。」1:10
- 聖霊は異邦人も贖われたことの保証
 - 「この聖霊は、わたしたちが御国を受け継ぐための保証であり、こうして、わたしたちは贖われて神のものとなり…」1:14

すべてを一つにした救い

- 御子キリストの血によって贖われた

- 「わたしたちはこの御子において、その血によって贖われ、罪を赦されました。これは、神の豊かな恵みによるものです。」

- それはすべての者が **ペンテコステの日** **である**

- 「こうして、時が満ち、**コルネリウス家** **が完成**
され、あらゆるものが **エフェソ** **のもとに**

一つにまとめられます。 10

- 聖霊は異邦人も贖われたことの保証

- 「この聖霊は、わたしたちが御国を受け継ぐための保証であり、こうして、わたしたちは贖われて神のものとなり…」1:14

キリストはすべての上におられる

- キリストはすべて(ユダヤ人も異邦人も)の上にいる「頭」である
 - 「神はまた、すべてのものをキリストの足もとに従わせ、キリストをすべてのものの上にある頭として**教会**にお与えになりました。」1:22
- 「教会(エクレシア)」という呼称の意味
 - 旧約聖書におけるユダヤ人たちの「会衆」を表す
 - 「王は振り向いて、イスラエルの**全会衆**を祝福した。」列王上8:14
 - イエスを信じる人たちの集まりを、**ユダヤ人の会衆**と同じ呼び方をした！

神に近い者とされた異邦人

- 異邦人はかつて契約の外にいた
 - 「そのころは、キリストとかかわりなく、イスラエルの民に属さず、約束を含む契約と関係なく、この世の中で希望を持たず、神を知らずに生きていました。」2:12
- 「近い者」とされた異邦人
 - 「しかしあなたがたは、以前は遠く離れていたが、今や、キリスト・イエスにおいて、**キリストの血によって近い者となった**のです。」2:13

「近い者」どころか「一人」になった

- 「敵意」と「律法」はキリストによって廃棄された
 - 「実に、キリストはわたしたちの平和であります。二つのものを一つにし、御自分の肉において敵意という隔ての壁を取り壊し、規則と戒律ずくめの律法を廃棄されました。」2:14-15
- キリストによって両者は「一人の新しい人」になった
 - 「こうしてキリストは、双方を御自分において一人の新しい人に造り上げて平和を実現し、十字架を通して、両者を一つの体として神と和解させ、十字架によって敵意を滅ぼされました。」15-16

神の住まいとなった両者

- 異邦人も「神の家族」となった

- 「あなたがたはもはや、外国人でも寄留者でもなく、
聖なる民に属する者、神の家族であり」2:19

- ユダヤ人と異邦人が共に主の神殿となる

- 「使徒や預言者という土台の上に建てられています。
そのかなめ石はキリスト・イエス御自身であり、
キリストにおいて、この建物全体は組み合わされて
成長し、主における聖なる神殿となります。キリ
ストにおいて、あなたがたも共に建てられ、霊の働
きによって神の住まいとなるのです。」2:20-22

歷史的建築



「秘められた計画」

- この話は「秘められた計画」だった

- 「秘められた計画が啓示によってわたしに知らされました。…この計画は、キリスト以前の時代には人の子らに知らされていませんでしたが、今や“霊”によって、キリストの聖なる使徒たちや預言者たちに啓示されました。」3:3-5

- 異邦人もユダヤ人と同じになる

- 「すなわち、異邦人が福音によってキリスト・イエスにおいて、**約束されたものをわたしたちと一緒に受け継ぐ者、同じ体に属する者、同じ約束にあずかる者となる**ということです。」3:6

ユダヤ人には到底受け入れられない

•選ばれた民

- アブラハムから二千年、モーセからでも千五百年、バビロン捕囚の帰還からでも五百年、「神の民」として世界で唯一創造主の祝福に与る者だと自負してきた

•律法

- そのためには律法を守ることだと信じ、バビロン捕囚からの帰還後は死ぬ気で律法を守って来た

•自分たちを虐げてきた異邦人

- そんな苦労など全く知らない異邦人が、ただナザレの大工を信じるだけで自分たちと同じ「神の家族」になることなど到底受け入れられない！

そのために選ばれたパウロ

- 生粋の誇り高きユダヤ人

- 「わたしは生まれて八日目に割礼を受け、イスラエルの民に属し、ベニヤミン族の出身で、ヘブライ人の中のヘブライ人です」フィリピ³:5

- 律法の専門家

- 「律法に関してはファリサイ派の一員、熱心さの点では教会の迫害者、律法の義については非のうちどころのない者でした。」3:6

- パウロ自身が根底から造りかえられた！

- 「しかし、わたしにとって有利であったこれらのことを、**キリストのゆえに損失と見なすようになったのです。**」3:7